

4. 西アフリカエボラ出血熱 <2014年10月> に関する被災地支援の概要  
(各社から1%クラブに寄せられた報告の集計)

2015年6月22日現在

1%クラブ事務局(経団連政治・社会本部内)

(1) 支援総額(義援金・支援金等、救援物資)

項目	金額	回答数
義援金・支援金等	1億9891万円	44 社・グループ・団体
救援物資等の提供(金額ご報告分のみを集計)	1億1278万円	5 社・グループ・団体
合計	3億1169万円	

(2) 義援金・支援金等の内訳

① 実施主体別義援金・支援金等

項目	金額
日本の本社・グループ会社・支社	9863万円
海外被災国以外の海外現地法人等	5840万円
社員募金等(含 労働組合)	2146万円
海外本社(国外に本社がある場合)	2042万円
合計	1億9891万円

② 寄付先別義援金・支援金等

項目	金額
日本赤十字	3146万円
日本のNGO・NPO等	921万円
海外被災国のNGO等	4084万円
海外被災国以外の海外NGO等	1億1500万円
その他	240万円
合計	1億9891万円

(会社名公表可能分、五十音順)

義援金・支援金等の拠出企業(合計1億9891万円)

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス

キャノングループ

武田薬品工業

タムラ製作所

電通国際情報サービス

ニコン

日本証券金融

能美防災

ノバルティス ファーマ

パナソニック

芙蓉総合リース

三菱商事

その他 32 社・グループ・団体

救援物資等の提供（五十音順）

社名(グループ名)	品目	数量	提供先
ソニー	スマートフォン	1400台	ユニセフ・ギニア
トヨタ自動車	車両提供	17台	世界保健機関(WHO)
日本アイ・ビー・エム	エボラウイルス病の治療研究へのコンピューター処理能力の提供。 (IBMがもっている“World Community Grid”という仕組みでThe Scropps Research Insitituteとともにプロジェクトを立ち上げ。社員らは、自身の持っているコンピューターのアイドルリング時の処理能力を研究のために提供。)		The Scriptts Research Insititute
日本航空	救急車の輸送協力	6台	(一社)日本外交協会
パナソニック	ソーラーランタン	3240台	国連開発計画(UNDP)